

第5回備前市歴史文化基本構想策定委員会要点録

日時：平成24年10月8日（月）体育の日 13:00～14:30

会場：三石出張所

上西委員長 最初どうなるか不安だったが、なんとか形になりかけているので少し安心している。

事務局 たたき台をもとに説明。

上西委員長 皆さんご意見は？ さきほど資料館の話が出たが、備前市や岡山県には「やきもの」をきちんと展示している施設がない。施設があり、職員が配置されないと研究も進まない。兵庫とか福井とか愛知などにはきちんとした展示研究施設があるのに備前焼にはない。理由はわからない。伊部駅前の陶芸美術館は財団で研究施設にはあたらない。県や市がきちんと整備しないといけない。

岡本副委員長保存活用の(2)と(5)以外の表は？

事務局 今後作成する予定です。

岡本副委員長これからやるべきことが書いてあり、よくわかる表だと思う。行政の役割、市民の取り組みがわかりやすい。

事務局 表で空白になるところもあり、現在作成中。10月末までにはまとめる予定。

岡本副委員長文化財の指定で、福石の荒神社獅子舞があるが、地域の人が伝承に取り組んで誇りだと思うが、耐火煉瓦だけでなくこのフレームに入れたらどうだろうか。

事務局 どう入れるか難しい。歴民に井上が民俗の概要をまとめている。

井上 備前市には獅子舞が多い。悉皆的調査をしたい。調査も年1回に限られるので、成果を出すには時間がかかる。と概要を説明。

事務局 どのような形で民俗をいれたらいいか悩んでいる。関連文化財群に入れるにはもう少し調査が必要である。今の群にいれこむのもどうか。

久山館長 福石の獅子舞は赤穂との交流で成立したと聞いている。おはやしや踊りが似ている。

倉地委員 8つめをついくるか、7つの中に入れ込むかということだよね。

事務局 そうです。ただ8つめをつくるのは資料が少なくフレームができにくい。ただ指定文化財も多いので、7つの中にもりこみたいのだが。

岡本副委員長地域の人を取組なのでなんとか7つの中に盛り込んでほしい。

岩崎委員 7つのフレームに入らないものはどうしても出てきてしまうが、なるべく広く網をかけるようにした方がいい。無形民俗の取扱いですね。話は変わるが、公立の資料館の話もあったが、民間の資料館との連携はどう考えたらいいか。「寺社」との連携は大胆な発想だと思った。市内には貴重な書籍を多数持つ正宗文庫とかあるが、どう考えるか。

上西委員長 民間との連携はなかなか難しい。以前、大ヶ池の上にあった備前古陶館はなくなってしまった。民間への負担はかけられない。

岩崎委員 民間へたよるといふ発想ではなく、民間を取り上げないと漏れが生じると思

- う。民間も含めて歴史文化の蓄積が要である。
- 狩山委員 資料としては民間の内容も入れて作成したほうがいいのでは。
- 事務局 表 5 にまとめているが、個々に少し加えて、さらに本文にも書き加えたほうがいいかと思います。項目をひとつおこしてもいいですし。
- 倉地委員 第 6 章の 2 の(2)の「市民グループ・・・民間企業・・・」あたりに理念的なことを加えてはどうか。細かなことは、第 7 章ではくわしすぎるので、そのあたりにいれたらいかがでしょうか。
- 事務局 30 頁の 10 年先の取組に「正宗文庫」について記述したが、もう少しぼかしたほうがよかったですでしょうか。
- 岩崎委員 (2)の中に具体的に正宗文庫もいれておけばいいのでは。
- 倉地委員 34 頁に削除とあるが、29 頁には設定とある。整合性は？
- 事務局 関連文化財群が決まってない段階なので、今回は「歴史文化保存活用区域」を設定しない方がいいと思う。お金が関連していく部分もある。
- 倉地委員 いずれこうするとの方向性は書いた方がいいと思う。34 頁がいいか、29 頁がいいか。
- 事務局 34 頁の今後の展開に盛り込みたい。
- 狩山委員 29 頁の歴民、加子浦など文化施設についてはタイムスケジュールがあるのに、ほかの内容についてもタイムスケジュールがあるほうがいいのでは？
- 事務局 例えば目録作りなどについてですか？
- 狩山委員 そういことです。
- 岩崎委員 歴史文化保存活用区域を設定してお金をかけるということは具体的にどういうこと？
- 事務局 例えば、備前陶器窯跡だと補助金を受け、計画的に整備していくこと。
- 岩崎委員 八塔寺のかやぶき屋根の改修ができないという話があったが、区域を設定すればそれが改修できるということか。
- 事務局 関連部局との連携を取りながらの対応になる。現在は連携がうまくできているとはいえないので。
- 倉地委員 計画はできたが実施ができないというおそれが考えられる。具体的に展開を考えるべきである。33 頁のトータルデザインはいいと思う。文化財を適切に保護するには重要であるし、周知にもつながる。トータルデザインだけでなく、ほかに市民や市外からの人への周知や情報発信も必要。HPなども含めて、市内外への発信手法の項目をつくってはどうか。
- 事務局 (8)の「関連文化財群への案内・・・」の項を、周知方法の理念的なことも含めて書き直します。
- 上西委員 色やデザインはわかりやすくしないといけない。周囲への配慮もわかるが、県美の例でもやっぱり目立つようにしないと。
- 岡本副委員長 7 の「古くより交通の要衝・・・」は言葉が難しすぎる。辞書をひかないとわからない。少しやさしい言葉に書き換えたなら？例えば「交流、流通の地、備前」とか。また 9 頁の目標像が消極的すぎる。例えば「文化を活かして」

とか「文化を誇りに思いながら」と、もっと意が伝わる言い回しの方がいいと思う。市民にとって誇りや自慢が活性化につながるのですから。

狩山委員 この文書だけでは伝わりやすさがない。これがそのままパブコミにかかるわけでは？第1章の4では「経緯」がふたつある？

事務局 文字だけでなく表も入れて見やすくする。

上西委員長 佐渡の例を参考にしているのか？

事務局 佐渡はコンサルが作成しているので、フレームのみ参考にした。

倉地委員 文化施設等には職員が配置されていないというくだりがあるが、計画が実行されるためには、人材育成、ボランティア、文化資源発掘隊など、人材の育成などが必須だと思う。③2頁の5のところでもいいので、少し記述してほしい。

事務局 わかりました。

上西委員長 行政では、文化施設などこういう部署での2,3年での異動は控えてほしい。そうしないと研究もできない。

事務局 今後のスケジュールの説明。11月上旬に最終案（パブコミ前）を持ち回り確認。下旬にパブコミ。

1430～出張所2階で、三石の古写真の展示を観覧し、久山陽一三石公民館長、山下茂樹資料調査員案内で三石地区のワークショップへ。